

メッセージ

「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに「原水爆禁止2019年世界大会」を開催されますことに対し、深く敬意を表します。

広島、長崎に原爆が投下されてから、間もなく74年目を迎えようとしております。我が国は、世界唯一の被爆国として、悲劇が二度と繰り返されることがないように、「核兵器のない、戦争のない世界」の実現に向け、その甚大な被害、被爆者の苦しみを後世に語り継ぎ、世界に核兵器の恐ろしさを発信し続けなければなりません。

本市におきましても、昭和58（1983）年に「非核平和都市」となることを宣言し、平和な社会を実現するため、様々な啓発活動を推進してまいりました。

今後も、核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざし、非核・平和のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

結びに、原水爆禁止世界大会実行委員会のご活動の更なる充実と本日ご臨席の皆様のご多幸をお祈りいたしましてメッセージといたします。

令和元（2019）年8月3日

門真市長 宮本 一孝